

3月8日朝日新聞書評「扉」 で紹介されました。

宅間守 精神鑑定書

内容紹介●2002年10月、大阪地方裁判所からの依頼により宅間守の精神鑑定書を作成するにあたり、著者は大阪拘置所において、2002年10月から2003年1月の間に計17回、宅間守と面接した。本書は、2003年1月、大阪地方裁判所へ提出された精神鑑定書を、ほぼそのまま収載している。

宅間守
精神
鑑定書

扉
2001年に大教大付池田小
で20人を超える児童・教諭を殺
傷し死刑となった宅間守。13年
6月には岡江晃「宅間守 精神
鑑定書」(亜紀書房)が刊行さ
れ話題を呼んだが、昨年末、こ
れを受けて、飢餓陣営・佐藤幹
夫編の「宅間守 精神鑑定書」
を読む」(言視舎)が出た。
13年10月にがんで死去した岡
江は病を押して編者らに会い、
率直に語っている。裁判官に宅
間の治療の可能性を聞かれた時
「おまうんないしよ」と答え
た上で「戦前の価値観のはっき
りした時代に生まれていたら、
しなかった可能性がありません」
と述べたそうだ。統合失調症と
人格障害、発達障害をめぐる論
考も読み応えがある。(鈴木繁)

宅間守は二〇〇一年六月、大阪
教育大学附属池田小学校で
児童・教諭を殺傷した。
二〇〇三年八月、死刑判決を
受け、二〇〇四年九月、死刑が
執行された。
精神医療と
刑事司法の
はざま
岡江 晃
Akira Okae
亜紀書房
本書は、宅間守と十七回面接
し、精神鑑定を行った精神科
医による初の著書である。
大阪地方裁判所へ提出された
精神鑑定書を、ほぼそのまま
収載している。

●3月8日朝日新聞書評欄

3刷

岡江 晃 著

四六判・上製・416P

定価:本体2,400円+税

言視舎刊『「宅間守の精神鑑定書」を読む』(9784865650075)
と一緒にご展開ください。(営業部・佐藤)

(返品はいつでも受け取ります。)

番線印	ご注文数	書名・ISBN・本体価格
	冊	<h3>宅間守 精神鑑定書</h3> <p>岡江 晃 著</p> <p>ISBN 978-4-7505-1310-2 C0095 ¥2400</p> <p>亜紀書房 TEL 03-5280-0261 FAX03-5280-0263</p>
担当:	様	